２０２６年１１月２０日
日 本 銀 行 仙 台 支 店

経　済　の　動　き*

【全体感】

東北地域の景気は、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、持ち直しの動きがみられる。設備投資は、増加基調にある。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。この間、生産は、緩やかに回復している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

【各　論】

１．需要項目別動向

公共投資は、持ち直しの動きがみられる。

設備投資は、増加基調にある。

９月短観（東北地区）における 2026 年度の設備投資をみると、大型投資案件が一巡したものの、幅広い業種で、能力増強投資や老朽化対応投資、省力化投資、研究開発投資などがみられている。

個人消費は、緩やかに回復している。

主要小売業販売額をみると、ドラッグストアは、増加している。スーパーは、持ち直している。コンビニエンスストアとホームセンターは、持ち直しの動きが一服している。百貨店は、弱めの動きとなっている。また、家電大型専門店は、緩やかに回復している。乗用車の新車登録台数は、持ち直している。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

住宅着工戸数をみると、分譲は、持ち直しの動きがみられる。持家と貸家は、横ばい圏内の動きとなっている。

---

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区６県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店ＨＰへのアクセス

当店ＨＰでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。

２．生産

生産（鉱工業生産）は、緩やかに回復している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスや生産用機械等、輸送機械は、回復している。食料品は、緩やかに減少している。

３．雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

労働需給は、引き締まった状態にある。この間、雇用者所得は、業種ごとのばらつきを伴いながらも増加している。

４．物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

５．企業倒産

企業倒産は、概ね前年並みとなっている。

６．金融情勢

預金動向をみると、法人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、上昇している。

以　上

本件に関する問い合わせ先
日本銀行仙台支店営業課
TEL：０２２－２１４－３１２０